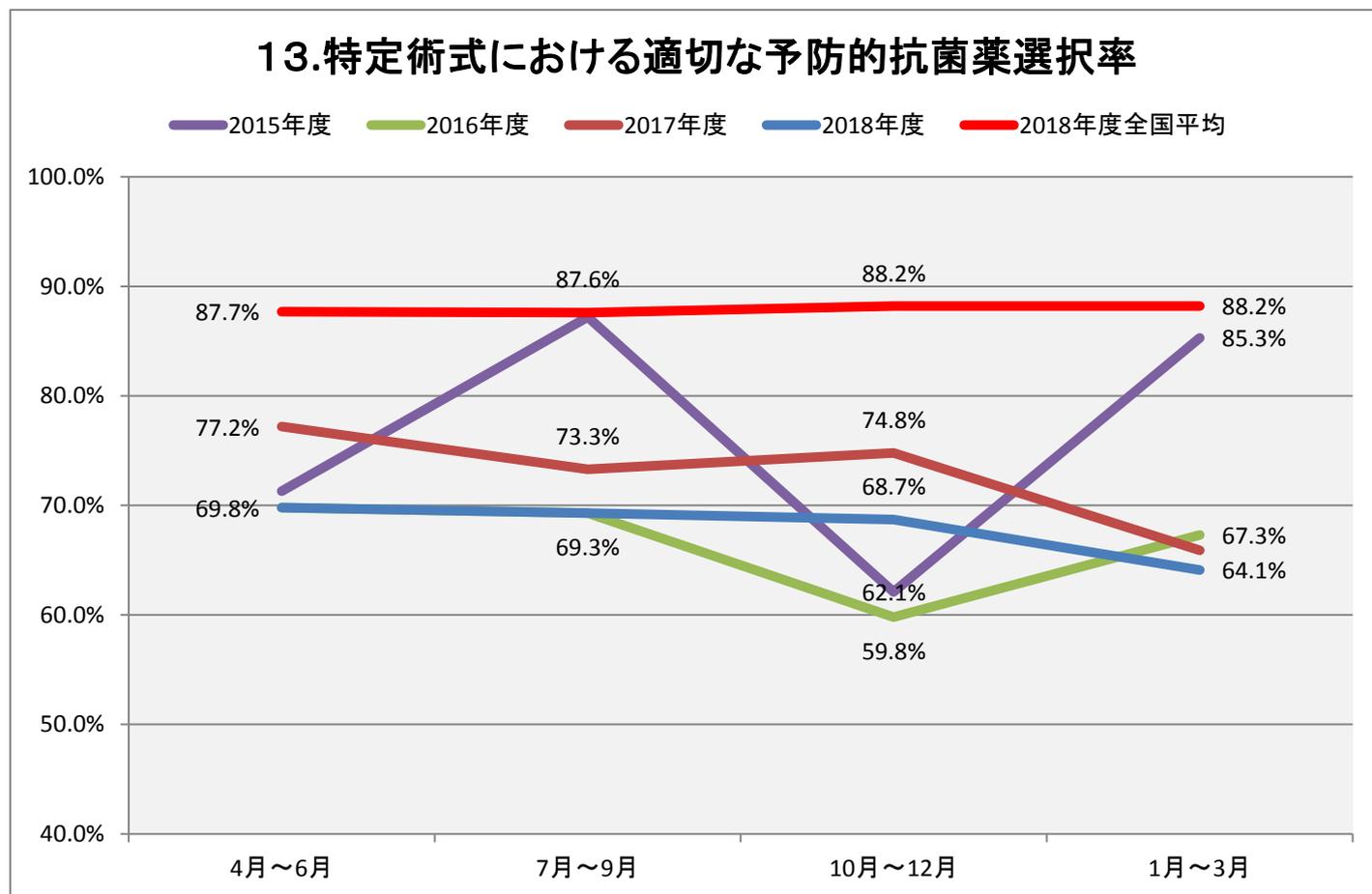


13.特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

(1)調査結果



| 調査期間 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 |
|------------|-------|-------|---------|-------|
| 2018年度 | 69.8% | 69.3% | 68.7% | 64.1% |
| 2017年度 | 77.2% | 73.3% | 74.8% | 65.9% |
| 2016年度 | 69.8% | 69.3% | 59.8% | 67.3% |
| 2015年度 | 71.3% | 87.2% | 62.1% | 85.3% |
| 2018年度全国平均 | 87.7% | 87.6% | 88.2% | 88.2% |

(2) 指標の説明 手術後に、手術部位感染が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が増大します。その予防策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があります。手術開始から終了後2～3時間まで、体内の抗菌薬濃度を適切に保つことで、感染を予防できる可能性が高くなります。

(3) 定義 分子: 術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数
分母: 特定術式の手術件数

※特定術式・・・股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、大腸手術、子宮全摘除術、冠動脈バイパス術、その他の心臓手術、血管手術